

きさらづ未来ビジョン提言書の基本計画への反映状況調べ

ビジョン	プロジェクト	課題	必要な取組	提案事項 (アイデア)	第3次基本計画の 関連する施策・取組	実施予定等				左記の詳細						
						実施中	準備中 (第3次基本 計画で実施)	要検討	その他 (記入)							
1 人のつながりがあるまち	1 つながり・コミュニティ	①つながる仕組み・環境の不足	1 人と人が出会える場づくり(何かしたい人、助けてほしい人、役に立ちたい人) ●木更津市SNSでイベント・ボランティア等の呼びかけ ●SNSを活用したり、未来会議のような場を増やす取組		施策13 主な取組13-2 1点目	●				オンラインで若い世代が気軽に交流できる場を年間通じて定期的の実施している。						
					施策45 主な取組45-2 1点目と3点目	●				市民活動支援センター「きさらづみらいラボ」にて、市民活動に関する情報発信、団体間の交流に取り組んでいる。						
						●				「自ら実践者となりまちづくりに関わりたい人」等を対象として参加者を募集し、中心市街地活性化に向けたアクションを行う中心市街地のまちづくり意見交換会を実施している。						
					2 ゴミ拾いでアイスチケットがもらえるなど、イベントに参加した人が次の場所へ行く仕組みづくり	行政ポイントを活用した新たな仕組みづくり	施策45 主な取組45-2 1点目			●		らづポイント(行政ポイント制度)を活用した仕組みづくりが可能であるか、実施した場合の効果等を含め今後検討する。				
					3 クリーン活動や防災訓練など、定期的な地域活動の実施		施策40 主な取組40-2 1点目	●				市内ゴミゼロ運動をはじめとする市民参加型の清掃活動を実施している。				
					施策45 主な取組45-1 1点目と4点目と5点目	●				地区まちづくり協議会や自治会等に対し、活動拠点の整備や補助金を交付し、地域活動の実施を支援している。						
			4 外国人など、メンター登録・紹介制度の実施		施策27 主な取組27-2 1点目				●	外国人市民に対し、「サポートデスク」や外国人向けインフォメーションの周知を行い、生活情報の提供・相談体制の充実に取り組む予定としている。						
			5 ボランティア紹介・コーディネーター交流などの実施		施策45 主な取組45-2 1点目と3点目	●				市民活動支援センター「きさらづみらいラボ」にて、市民活動に関する情報発信、団体間の交流に取り組んでいる。						
			②近所づき合いの弱体化	1 夏の盆踊りなど、地域で関わるお祭りの実施				施策14 主な取組14-4 2点目と3点目			●		地域課題の解決に向けた学習機会を提供し、その成果を主体的に地域社会に活かすことができる仕組みづくりの一つとして地区まちづくり協議会と連携して取り組むべき事案である。			
								施策45 主な取組45-1 2点目と4点目と5点目	●				地区まちづくり協議会が主催又は共催するお祭り等に財政的支援及び人的支援を実施している。			
	2 回覧板を活用し、地域ごと、近所で情報を回覧							施策14 主な取組14-4 2点目	●				公民館だよりを活用し、地域の話題・情報を周知することにより郷土への愛着を更に深めるきっかけとする。			
								施策41 主な取組41-2 4点目	●				情報のデジタル化と並行して、地域情報の共有手段として回覧板を利活用している。			
	3 子ども会への地域の大人が参加							施策13 主な取組13-1 2点目	●				子ども会活動への支援や担い手の育成にこれまででも取り組んでいるが、更なる支援が必要である。			
	4 寺社仏閣を活用したお祭りやイベントの実施							施策45 主な取組45-1 2点目と4点目と5点目	●				地区まちづくり協議会が主催又は共催するお祭りやイベント等に財政的支援及び人的支援を実施している。			
	5 小規模で地域が行えるお祭りやイベントの実施										施策14 主な取組14-4 2点目と3点目			●		地域課題の解決に向けた学習機会を提供し、その成果を主体的に地域社会に活かすことができる仕組みづくりの一つとして、地区まちづくり協議会と連携して取り組んでいけるようにする。
											施策45 主な取組45-1 2点目と4点目と5点目	●				地区まちづくり協議会が主催又は共催するお祭りやイベント等に財政的支援及び人的支援を実施している。
	③コロナ禍における社会の分断	1 病気があったときの助け合い強化								ご近所付き合いやICTの活用による見守り	施策03 主な取組03-1 4点目	●				民生委員児童委員との連携推進や木更津市社会福祉協議会を通じて地区社会福祉協議会の助け合い活動の推進に取り組んでいる。また、地区まちづくり協議会が実施する生活支援に関する事業に財政的支援及び人的支援を実施している。
											2 市民共有のSNS(掲示板)を開設し、社会のつながりを創る		施策45 主な取組45-2 3点目	●		
			3 ハイブリッド(オンライン オフライン) 見守りイベント		施策48 主な取組48-1 3点目	●							令和4年12月から希望する高齢者に見守り用のタブレット配付している。			
	1 人のつながりがあるまち	2 多文化共生	④外国人の受け入れ体制が十分でない	1 木更津市在住の外国人を対象にした、地域内でのホームステイ・交換留学の実施		施策27 主な取組27-1 1点目	●				木更津市国際交流協会にて木更津工業高等専門学校への留学生に対するホームステイの受け入れを実施している。					
2 日本文化を紹介できるイベントの実施							施策27 主な取組27-1 1点目	●				木更津市国際交流協会のニューイヤーパーティで海外や日本の文化・食事を紹介等をするイベントを実施している。(ここ数年はコロナの影響により未実施)				
3 高校や大学でも、ALTなどの能動的な授業を受けられるような取り組みを増やす							施策12 主な取組12-1 1点目			●		イングリッシュキャンプや部活動を通じて交流を図ることを検討している。				
4 外国人向け防災訓練や多言語対応の防災アプリなど、多文化共生の視点を取り入れる							施策27 主な取組27-1 1点目 施策27 主な取組27-2 1点目				●	千葉県との共催のもと、「災害時外国人サポート養成講座」等の開催を計画している。				

きさらづ未来ビジョン提言書の基本計画への反映状況調べ

ビジョン	プロジェクト	課題	必要な取組	提案事項 (アイデア)	第3次基本計画の 関連する施策・取組	実施予定等				左記の詳細	
						実施中	準備中 (第3次基本 計画で実施)	要検討	その他 (記入)		
1 人のつながりがあるまち	3 世代を超えた交流	⑤世代間の交流機会の不足	1 多世代が集える・話せる共有スペースや講座、行事、イベントを作る		施策14 主な取組14-4 1点目	●				家庭教育支援、青少年健全育成及び高齢者の社会参加を促進し、新たな多世代交流の機会を創出する。	
					施策16 主な取組16-1 4点目		●			ホール、図書館、公民館を複合した文化芸術活動等を中心とした世代間交流の拠点となる施設の整備を進める。	
					施策45 主な取組45-1 1点目			●		市民活動支援センター及び金田地域交流センターに共有スペースを設置しているほか、コミュニティカフェ等を開催し、集え話せるイベントを実施している。	
					施策45 主な取組45-2 2点目			●		また、市民が集える場所として、(仮称)市民交流プラザの整備を計画している。	
			2 役割体験(学生・母・お年寄りなどの役割交換)の実施		施策14 主な取組14-4 1点目				●		それぞれの世代の役割や抱えている問題などをお互いが理解するための事業計画を検討する。
					3 学生が主体となって交流できる場を増やす取り組み	施策13 主な取組13-2 1点目	●				オンラインで若い世代が気軽に交流できる場を年間通じて定期的の実施している。
			施策45 主な取組45-2 2点目				●		市民が集える場所として、(仮称)市民交流プラザの整備を計画しており、機能の1つとして、自習にも利用できるコワーキングスペースの整備を予定している。		
						●			木更津市中心市街地活性化協議会に高校生世代が参画する部会「ユース部会」を設置し、市内の高校や高専から参加者を募り、交流を図りながら自分たちで実現可能な取り組みを学生主体で企画立案から行っている。		
			4 多世代と一緒に学び・楽しむことのできる(お互いが教え合い、学び合える)		施策14 主な取組14-4 1点目	●				家庭教育支援、青少年健全育成、高齢者の社会参加を促進し、新たな多世代交流の機会を創出する。	
					施策16 主な取組16-1 4点目			●		ホール、図書館、公民館を複合した文化芸術活動等を中心とした世代間交流の拠点となる施設の整備を進める。	
					施策45 主な取組45-1 1点目 施策45 主な取組45-2 2点目			●		市民の交流拠点として金田地域交流センターを設置している。また、市民が集える場所として、(仮称)市民交流プラザの整備を計画している。	
			5 コミュニカレッジの創設			施策14 主な取組14-2 3点目				●	令和5年度新規事業である「きさらづ市民カレッジ」の内容に含めるか検討している。

きさらづ未来ビジョン提言書の基本計画への反映状況調べ

ビジョン	プロジェクト	課題	必要な取組	提案事項 (アイデア)	第3次基本計画の 関連する施策・取組	実施予定等				左記の詳細	
						実施中	準備中 (第3次基本 計画で実施)	要検討	その他 (記入)		
2 自然とともに あるまち	1 自然との共 存	①自然環境の破壊	1 電気自動車の購入時に補助金を交付		施策39 主な取組39-1 1点目と3点目		●			環境への負荷の低い次世代自動車の普及を促進するため補助金の交付を予定している。	
			2 各地に充電スタンドを設置			●				電気自動車を共用車として導入し、併せて駅前、朝日及び旧庁舎へ充電コンセントを設置している。	
			3 市の景観コード(方針)を作り、自然・美しい風景を残しつつ暮らしを豊かにする		施策32 主な取組32-1 3点目と4点目		●			デザインコードを策定し、地域の景観資源を活かしたまちなみを促進する。 (参考) 平成29年度から公共施設内の花きの植替えを行う市民団体等への支援を実施することで、自然風景を残す景観を促進している。	
		②自然に親しむ機 会の減少	1 山・海のアクティビティを盛り込んだ、体験(旅行)プログラムの作成		施策25 主な取組25-2 2点目	●				きさらづDMOと連携し、干潟観察や農業体験等を含む「きさらづミライマナビ旅」に加え、今後もコンテンツの充実に取り組んでいる。	
			2 自然の中で遊ぶ・楽しむプロジェクトの継続的な実施		施策25 主な取組25-2 2点目	●				きさらづDMOと連携し、キャンプやシーカヤック、教育旅行をはじめとする観光コンテンツの磨き上げを行っている。	
			3 学校行事における山登り、キャンプ、潮干狩り等の実施		施策13 主な取組13-2 2点目		●				少年自然の家キャンプ場を拠点として青少年事業を展開している。
						●					全校ではないが、校外学習や自然体験学習等において自然に親しむ機会を設けている。
2 自然とともに あるまち	2 自然を生か した産業	③持続性の確保 (後継者・資源)	1 後継者を育てる農業系大学等の創立					●		千葉県立農業大学校(東金市)があるため、本市が農業系大学を設立するには慎重な検討が必要と考えている。	
			2 最低収入の補償					●		第3次農業振興総合計画に基づく施策により、農業の振興及び農業者の収入の確保を図る。	
			3 農業、漁業の後継者の育成に向けた研修制度の設立			●		●		農業に関しては、君津農業事務所において農業者の育成に係る研修等を開催している。 漁業に関しては、後継者育成以前にアサリが取れる漁場整備(改善・対策)や新たな水産資源「カキ養殖」の整備により、安定した漁業所得向上に取り組んでいる。	
			4 学生、若手を対象とした農業、漁業の体験プログラム作成			●				イベントに合わせた体験プログラム等を実施しているが、今後、関係団体等と協議し、プログラムの充実に努める。	
			5 Iターン・Uターンを狙った補助事業(技術継承、家賃補助など)の実施					●		庁内で調整を図り、補助制度を検討する。	
			6 農家や漁師といった職業のメリットの発信						●		農業に興味がある方に対するセミナーや農業体験などにより、自身でメリットを感じて頂くしかないと考えている。 のり漁業者に関しては、自然や食害被害に影響があるものの、個人の取組み次第では、高額所得も可能な魅力ある仕事の一つである。
			7 使っていない田んぼ等を市で管理し、新規参入者へ提供							●	

きさらづ未来ビジョン提言書の基本計画への反映状況調べ

ビジョン	プロジェクト	課題	必要な取組	提案事項 (アイデア)	第3次基本計画の 関連する施策・取組	実施予定等				左記の詳細
						実施中	準備中 (第3次基本 計画で実施)	要検討	その他 (記入)	
2 自然とともに あるまち	3 エシカルな 暮らし	④ゴミ問題	1 ボランティアを活性化し、様々な場所の整備によるキレイで「ポイ捨てしにくい」環境づくり		施策40 主な取組40-2 1点目		●			「ごみ拾い促進プラットフォーム」を導入し、市民のボランティア清掃への関心を高め、きれいなまちづくりを推進する。
					施策45 主な取組45-2 1点目と3点目	●			市民活動支援センター「きさらづみらいラボ」にでの市民活動に関する情報発信や行政ポイント制度による参加促進等、市民活動・ボランティア活動の活性化に取り組んでいる。	
					施策37 主な取組37-1 1点目			●	ごみステーション利用者や土地管理者と協議を要する。	
					施策37 主な取組37-1 1点目			●	事業者との協議を要する。	
					施策37 主な取組37-1 1点目			●	公民館等公共施設において、限られた品目のリサイクルBOXを設置している。新たな設置場所や品目の増加、ポイント付与の仕組みについては、民間との連携を探索。	
					施策40 主な取組40-2 1点目	●			木更津港まつりなど市主催イベント終了後の清掃に市民ボランティアが参加している。	
		⑤市民や企業の理解・協力が不十分	1 市民・企業へのインセンティブをつくる ●協力者への減税 クーポン券の配布 ●協力企業にポイント！ ●協カステッカーによる周知、補助金の交付 ●ゴミを持ち帰らせない工夫をしているお店へのインセンティブをつくる	ボランティア清掃等の実施者にインセンティブを与えることは可能かもしれないが、企業に向けての事業は慎重に検討する必要がある。	施策37 主な取組37-1 1点目			●		個人や自治会等の団体には、生ごみ肥料化容器等設置助成や資源ごみ集団回収助成を行っているが、企業向けの助成などは実施していない。
					施策37 主な取組37-1 1点目	●			「木更津市地産地消推進店認定事業」を実施するため、令和4年11月1日から地産地消推進店を募集している。地産地消の取り組みを市民に周知することで生産と消費拡大につなげる。	
					施策37 主な取組37-1 1点目	●			オーガニックシティフェスティバルのイベントとしてリサイクルフェアを実施している。	
					施策42 主な取組42-1 2点目と4点目	●			本市が保有している広報媒体をメディアミックスにより活用し、本市の特産品や自然など様々な魅力を発信している。	
					施策37 主な取組37-1 1点目			●		
					施策37 主な取組37-1 1点目			●		
					施策37 主な取組37-1 1点目			●		
					施策37 主な取組37-1 1点目			●		
					施策37 主な取組37-1 1点目			●		

きさらづ未来ビジョン提言書の基本計画への反映状況調べ

ビジョン	プロジェクト	課題	必要な取組	提案事項 (アイデア)	第3次基本計画の 関連する施策・取組	実施予定等				左記の詳細		
						実施中	準備中 (第3次基本 計画で実施)	要検討	その他 (記入)			
3 人を呼ぶ魅力のあるまち	1 移住・定住の促進	①居住・生活の利便性の不足	1 新しく住む人のための住居(家・アパート・マンションなど)の建設	建設補助、取得助成	施策29 主な取組29-1 2点目	●				木更津駅周辺への街なかマンション建設事業を引き続き支援する。		
			2 バスの本数を増やしたり、無料バスを走らせる		施策33 主な取組33-2 2点目と3点目		●			まちづくりの進展や需要の変化を踏まえ、バスを増便するよう、バス事業者へ働きかける。		
			3 道路の整備(特に金田地区の渋滞解消)		施策33 主な取組33-1 2点目と3点目		●			道路ネットワークの整備を推進する。		
			4 空き店舗に新たなお店を入れるような仕組みづくり		施策23	●				空き店舗補助金を交付し、空き店舗を活用した取組の支援を行っている。		
			5 久留里線でも電子通貨を使えるようにする						●		千葉県JR線複線化等期成同盟を通じて、引き続きJRへ要望する。	
			6 駅前等へのごみ箱の設置によるまちの美化		施策40 主な取組40-2 1点目				●		ごみ箱の設置場所の検討及び土地管理者と協議を行う必要がある。	
3 人を呼ぶ魅力のあるまち	2 訪れたい魅力の創出	②観光業の衰退	1 木更津産食べ物(B級グルメ等)や物(木更津産の木材を使いたい等)を作る		施策21				●	森林整備の取組みにおいて、間伐などの伐採木を使用した木材利用の一つとして検討する。		
			2 様々な文化を楽しめるイベントの開催		施策25 主な取組25-1 1点目	●				各種イベントを継続的に開催している。		
			3 木更津の特産物を扱う店(農水産物・加工食品・人気の菓子等のお土産)を作る		施策20	●				道の駅「木更津 うまくたの里」を中心に地元農産物の販売促進を行っている。		
			4 県外からのアクセスの良さを利用しているいろいろな国や県の食文化を楽しめるフード施設を作る	グルメイベント等の開催、企業誘致	施策25 主な取組25-1 1点目	●				企業誘致は予定なし	木更津ナチュラルバルで「安心・安全・無添加」をコンセプトとした食のイベントを開催する。企業誘致に関しては、関連事業を実施している企業からの立地相談があった場合に検討する。	
		③観光地としての発展の不均一さ	1 ホテル三日月やアウトレットに来た人が中心市街地まで来ようような動線を作る	施策25 主な取組25-1 2点目	●					観光パンフレットや観光デジタルマップ「木更津おでかけナビ」等を活用し、市内回遊の促進し、今後も充実を図る。		
				施策26 主な取組26-2 3点目		●				多様な文化活動の発表・発信ができるホール機能を有するとともに、図書館、公民館や災害時に防災活動の拠点となる機能も複合した文化芸術施設の整備を進める。		
			2 中心市街地以外(富来田など)の観光資源を創出する		施策25 主な取組25-2 1点目	●				きさらづDMOや関連事業者と連携して、地域を問わず観光資源の掘り起こしや磨き上げを行っている。		
			3 海、山の観光業をしっかりと分けて海の木更津、山の木更津くらいわかりやすく、おもしろく見せる	新たな魅力発信の手法	施策25 主な取組25-1 2点目 施策25 主な取組25-2 1点目と2点目 施策34				●		里海・里山を活かした観光コンテンツをより充実させ、様々な広報媒体を用いた効果的な宣伝を実施していく。また、内港における賑わいの拠点づくりを県とともに推進する。	
			3 魅力の発信	④PR・発信力・マーケティング戦略の不足	1 YoutuberやTikTokerとコラボする	PR大使やふるさと応援団の活用	施策42 主な取組42-1 1点目、2点目、4点目				●	発信力の高い方と連携しながら、より効果的な発信について検討する。
					2 PR動画を映画館や駅前のスクリーンで流す		施策42 主な取組42-1 1点目と2点目				●	事業者等と協議しながら実施に向け検討する。
3 「木更津がどう」ではなく「千葉の中で木更津はこう」をPRする		施策42 主な取組42-1 1点目と2点目と4点目						●	木更津ブランド確立に向けた取り組みを実施する。			
4 若い世代の使用頻度がより高いSNS(Instagram、Twitter等)で木更津の魅力を毎日投稿する		施策42 主な取組42-1 1点目と2点目 施策43					●		ニーズを把握し、効果的な発信内容、タイミング(頻度)を検討しながら実施する。 SNSを活用する。			
5 世代ごとに伝わりやすいPR専門の仕事をつくり、各々の発信担当を決める	各世代のインフルエンサーの登用	施策42 主な取組42-1 1点目、2点目、4点目						●	各世代のニーズに合った情報発信ができるよう発信体制の構築を検討する。			
6 代理店と協力しPRを行う		施策42 主な取組42-1 1点目と2点目						●	代理店や民間事業者等と協力・連携できる体制を構築する。			
7 ポスター等による市民向けPRを行い、市民から他市町村の友人や親戚に広めてもらう		施策42 主な取組42-1 1点目と2点目と4点目						●	興味をもってもらえるデザイン等を採用するなど、拡散を狙った効果的なPRを実施する。			

きさらづ未来ビジョン提言書の基本計画への反映状況調べ

ビジョン	プロジェクト	課題	必要な取組	提案事項 (アイデア)	第3次基本計画の 関連する施策・取組	実施予定等				左記の詳細			
						実施中	準備中 (第3次基本 計画で実施)	要検討	その他 (記入)				
4 誰もが安心して暮らせるまち	1 支え合いの輪	①支え合いのつながりや人材が不足している	1 各医療施設間でのネットワークから各医療従事者団体レベルでのネットワークへ		施策02			●		主管である県に対して、医療従事者の確保対策を強化するよう要望する。			
			2 医療従事者、介護従事者における人材バンク化					●		人材バンクは、県福祉人材センターがあるため、市としては、人材不足解消に向け、介護職希望者・従事者への初任者研修や外国人介護人材の日本語教育研修を通じ、人材確保・育成・離職防止を図る。			
			3 近所同士の信頼性構築、自治会・地区のつながり ●まちづくり協議会のような組織を全地区に設立		施策45 主な取組45-1			●			全15地区中13地区に公民館単位で地区まちづくり協議会が設立しており、未設立地区については令和4年度に区長等への説明会を実施し、今後、区長等を対象とした設立に向けた検討会を実施する。		
			4 市役所内に専門職配置の充実(市民と行政のつながりが深くなる)	組織改正、外部人材の登用		●					福祉相談などに必要な専門職を引き続き配置するとともに、必要に応じて、専門知識を持ったアドバイザーの活用を検討する。		
			5 うつ病・依存症等心身ともに不安がある人へのサポートの充実		施策05 主な取組05-3 1点目 施策01	●					うつ病・依存症等により通院している人に自立支援医療費を給付している。 心身の悩み事や育児不安など市民からの相談に日々対応している。		
		②経済的な負担が 苦しい	1 支援金等(特に障害者・高齢者に対するもの)の検討		施策05 主な取組05-3 2点目 施策04 主な取組04-1	●					障がい者やその介護者に対し、経済的負担の軽減を図り、手当の支給や医療費の助成を行っている。 また、高齢者やその介護者に対し、経済的負担の軽減等を図るため、紙おむつの給付や配食サービス、緊急通報装置の貸与等各種助成を行っている。		
			2 ベーシックインカム木更津版の検討	市単独の助成制度(制度の上乗せや横出し等を含む)					●		市単独の助成制度の設立に向けて検討する。		
			3 雇用率の上昇・多種多様な企業誘致		施策19 主な取組19-1 施策24 主な取組24-1	●					雇用については、ハローワーク等との連携により実施している。 また、企業誘致については、産業拠点に適した企業誘致を行っている。		
			4 共働きを支援できるような、対子供のボランティア(見守り支援)充実とその保障		施策13 主な取組13-1 3点目	●					学校と放課後児童クラブと連携した放課後子ども教室の取組みを支援するとともに、各教室充実のための学習機会の提供、情報共有を実施している。		
			③防災の情報が届いていない	1 防災情報の伝達手段の拡充(LINE等での発信、各家へのポスティング)		施策06 主な取組06-2 1点目			●			様々な媒体の活用を図り、情報伝達手段の多重化に取り組んでいる。	
				2 木更津市特有のウェアラブル機器を市内各世帯に配布し、情報伝達に活用		施策06 主な取組06-2 1点目 施策48 主な取組48-1 3点目				●		高齢者へのタブレット端末の貸与等を行っているが、ウェアラブル機器の配布は行っていない。今後も様々なツールや情報通信技術の活用により効果的な情報伝達について検討する。	
				④防災意識が十分でない	1 防災意識を強化する為の呼びかけ(LINE等での発信、各家へのポスティング)		施策06 主な取組06-2 1点目			●			様々な媒体の活用を図り、情報伝達手段の多重化に取り組みながら、防災意識を強化するための呼びかけを行う。
					2 防災体験施設の設立		施策06 主な取組06-3 1点目				●		講習会の開催等の防災教育や防災フェスタ等で防災意識の啓発を行っているが、防災体験施設の設立については、検討する段階に至っていない。
			3 自治会での講習会(定期的に内容を更新)			施策06 主な取組06-3 1点目	●					既に実施しているため、今後も内容を更新しつつ実施する。	
4 市民への防災教育を行う		施策06 主な取組06-3 1点目	●						既に実施しているため、今後も内容を更新しつつ実施する。				
5 小学校・中学校で防災教育を行う		施策06 主な取組06-3 1点目	●						既に実施しているため、今後も内容を更新しつつ実施する。				
⑤水害・津波のリスク	1 防波堤を高くする							●	港湾については、県所管となっており、今後についても県へ港湾の適正な維持・管理や、護岸の嵩上げを要望する。 また、木更津卸売市場の北側の河川の護岸については、君津土木事務所と調整を行っており、令和5年度に要望する。				
	2 津波避難タワーの景観をきれいに保てるようにオシャレに作る		施策06 主な取組06-2 3点目 施策32 主な取組32-1 1点目	●				●	新たに津波避難タワーを建設するにあたっては、検討が必要となるが、津波、高潮浸水想定区域内において、避難所機能等を備えた施設整備を行う予定としている。また、景観をきれいに保てるよう、良好な景観形成のための助言などを行っている。				
	3 住民それぞれがどこに逃げるか決めておく		施策06 主な取組06-3 3点目				●		災害時の避難経路などの防災活動を記載した地区住民が作成する「地区防災計画」を推進する。				
⑥治安悪化の防止が必要	1 マップ上で発生状況を色分け表示し、事故・事件を可視化する		施策08 主な取組08-2	●					千葉県警察ホームページ「くらしの安全マップ」を市ホームページでも共有し、情報を発信する。				
	2 アスファルト以外(レンガなど)の道路・歩道整備 ⇒ 自動車・自転車の減速が期待でき、歩行、ランニングがしやすい		施策09 主な取組09-1 1点目				●		安全な歩行空間を確保するため、歩道の改良を実施する。				
	3 監視カメラを設置		施策08 主な取組08-2	●					必要と認められる箇所へ街頭防犯カメラを設置している。				
	4 緊急通報機能付きの街灯を設置		施策08 主な取組08-2					●	費用対効果等を十分検証し、設置について検討する。				
	5 警察のパトロール強化		施策08 主な取組08-1	●					引き続き警察と情報を共有し、防犯ボックスや地域と連携したパトロールを強化する。				

きさらづ未来ビジョン提言書の基本計画への反映状況調べ

ビジョン	プロジェクト	課題	必要な取組	提案事項 (アイデア)	第3次基本計画の 関連する施策・取組	実施予定等				左記の詳細	
						実施中	準備中 (第3次基本 計画で実施)	要検討	その他 (記入)		
5 子ども・若者が育つ環境のあるまち	1 子育ての環境	①子育て環境の向上が必要	1 病児保育サービスの充実		施策11 主な取組11-2 1点目		●			一時保育や病後児保育など、市民ニーズに対応した多様な保育サービスの充実に取り組む。	
			2 産後ケア事業の充実(兄弟一緒に泊まれる宿泊型、保育園送迎サービスとの連携)		施策02			●		既に宿泊型の産後ケア事業を産科医療機関で実施している。施設の状況として兄弟姉妹と一緒に泊まれることや、保育園の送迎サービスとの連携については、産科医療機関の理解を得ることが困難である。	
			3 適時伴走してもらえるマイ助産師制度 病院での受診の他にマイ助産師による訪問ケア		施策02			●		伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的事業を開始するなかで、母子保健コーディネーターである助産師が伴走型相談支援を行う。訪問ケアは、訪問型産後ケアとして千葉県助産師会に委託して実施している。	
			4 1歳までオムツ・ミルクの支給		施策02				●		ニーズ把握を含め要否を検討する。
			5 発達障がい支援の充実(仕事を含む)	施策05 主な取組05-3 4点目	●					発達障がいの子に対し、訓練や相談支援などの早期治療を実施し、障がいの軽減や生活能力の向上に取り組んでいる。	
				施策02	●					発達に課題がある未就学児を対象とした各種教室、相談に取り組んでいる。	
			6 育児力の形成に向けた支援		施策01	●				乳幼児健康診査や各種教室を通じて保護者の育児力の形成に向け取り組んでいる。	
			7 今ある公園の充実や公園の新設		施策30 主な取組30-1 1点目	●				土地区画整理事業区域等の住宅立地の進展に合わせ、都市公園の整備を行っているほか、計画的に既設公園内の公衆便所や遊具、フェンス等の改築・更新等を行っている。	
		8 保育士の人員増加に向けた待遇改善(給料、家賃補助)や育成・研修の充実		施策11 主な取組11-2 2点目と3点目			●		子どもを取り巻く家庭や環境の多様化に対応するため、保育の質を高める保育士を育成する。 なお、保育士の処遇改善のための給与の上乗せは取り組んでいる。		
		②子育ての経済的負担	1 市内企業に就職することを条件とした市独自奨学金の設立						●	令和5年度に市内在住者雇用の際の奨学金制度制定予定。	令和5年度から立地企業に対する立地奨学金を拡充し、市内在住者を雇用したときに交付する雇用奨学金制度を制定する。今後も企業等のニーズを把握し、奨学金の設立も含め柔軟に対応する。
			2 給付型奨学金の基準・条件を引き下げ							●	給付型を実施することで基金残高が大幅に減少するため、今後の基金残高を注視しながら、検討する。
			3 大学卒業用までの給付型の補助							●	給付型を実施することで、基金残高が大幅に減少するため、今後の基金残高を注視しながら、検討する。
			4 出産前後の経済的負担のサポート		施策11 主な取組11-1 1点目				●		伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的事業として、養育者に給付金を支給する。
			④将来の選択肢が広がる教育の充実	1 将来をみずけて何でもできるよう生活力・生きる力をつける市独自の教育プログラム ●仕事の体験	学校の統廃合による維持管理の簡略化					●	
2 アクティブラーニング型授業の実施							●			学習指導要領にある「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、各学校において授業の改善を行っている。	
2 教育の充実	③少子化による児童の減少	3 好きなことをとことん追求できるプロジェクト型教育						●		学習指導要領があるため、総合的な学習など検討する。	
		4 少人数でしかできない独自の教育の充実		施策12 主な取組12-1 5点目	●				各学校が特色を持つ「きさらづ特認校」制度を実施している。		
		1 将来をみずけて何でもできるよう生活力・生きる力をつける市独自の教育プログラム ●仕事の体験					●		小学校では就業密着観察学習、中学校では職場体験学習を実施している。		
		2 アクティブラーニング型授業の実施				●			学習指導要領にある「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、各学校において授業の改善を行っている。		
		3 ALTの授業以外での交流		施策12 主な取組12-1 1点目			●			授業以外の取組について、ミーティング等で各自レポートをあげてもらい、情報交換を行う。	
		4 外部講師(企業・市職員等)によるセミナー開講 ●生産者・経営者と実際に出会える、市内の様々な企業を知る機会づくり(SNS含め) ●自治会主体の講座を開講し、そこからSNSでつなぐ				●				学校単位で企業・生産者・市職員等による特別授業を実施している。	
		5 キャリア教育としての高校生インターン制(賃金が発生するリアル職場体験)		施策13 主な取組13-2 4点目				●		高等学校における効果的なキャリア教育について改めて検討するとともに、民間企業への連携を呼びかけるなど、課題を整理することが必要となる。	
6 社会人が副業的に自身の専門を教える仕組み(責任や権限も与える)	外部指導員の登用						●		中学校における部活動の地域移行について、来年度から行内で検討する。		
7 教育者の確保に向けた労働環境改善(17時以降は電話対応なし など)					●				教職員の働き方改革ガイドラインに基づき、超過勤務時間縮減に向けて行事の精選や教育課程の見直しをはじめ、勤怠管理システム、自動音声機付き電話の導入などの取組を実施している。		

きさらづ未来ビジョン提言書の基本計画への反映状況調べ

ビジョン	プロジェクト	課題	必要な取組	提案事項 (アイデア)	第3次基本計画の 関連する施策・取組	実施予定等				左記の詳細	
						実施中	準備中 (第3次基本 計画で実施)	要検討	その他 (記入)		
5 子ども・若 者が育つ環 境のあるま ち	3 若者の活躍	⑤若者の活動や就 職を後押しする支 援の不足	1 自習スペースの設置(空き店舗の利用など)と その運営への補助を行う → 社会貢献したい若者の応援、逃げ場にも なる		施策45 主な取組45-1 1点目 施策45 主な取組45-2 2点目		●			自習にも利用できるスペースとし て、市民活動支援センターにフリー スペース、金田地域交流センターに コワーキングスペース設置してい る。 また、(仮称)市民交流プラザの整 備を計画しており、機能の1つとし て、自習にも利用できるコワーキン グスペースの整備を予定している。	
			2 サード・プレイスとして学校内にカフェを開設 する(費用は市が支える) ●カフェ委員会+生徒会 → 運営したい 人、利用したい人の自主カフェ	学生の登用、スター トアップ起業とのコ ラボなど	施策14 主な取組14-4 3点目			●		現在、地区によっては、地区まちづ くり協議会が地域住民の交流の場と してコミュニティカフェを定期的に 開催しているため、学校内での開設 の必要性について検討する。	
			3 他校の専門分野の授業・セミナー(外部講師含 む)をサテライト聴講できる仕組み		施策14 主な取組14-2 3点目				●	令和5年度新規事業である「きさら づ市民カレッジ」の内容に含めるか 検討している。	
			4 学校を超えた交流の場を設ける(未来会議の ような場で単位が取れるもの)			●				木更津市中心市街地活性化協議会に 高校生世代が参画する部会「ユース 部会」を設置し、市内の高校や高専 から参加者を募り、交流を図りなが ら自分たちで表現可能な取り組みを 学生主体で企画立案から行ってい る。	
			5 経営や経済について勉強する機会の提供支援 (中高生向け経営セミナーなど)						●	中学校については、授業を希望する 学校と授業者の選定を行う必要があ る。	
		⑥若者の就職先の 問題	1 東京に就職しても通えるような家賃・交通費の 補助						●	市内に住みながら対岸地域等に通勤 するための支援について検討する。	
			2 市に就職することを条件とした、市独自の奨 学金						●	令和5年度に 市内在住者雇 用の際の奨励 金制度制定予 定。	令和5年度から立地企業に対する立 地奨励金を拡充し、市内在住者を雇 用したときに交付する雇用奨励金制 度を制定する。今後も企業等のニー ズを把握し、奨学金の設立も含め柔 軟に対応する。
			3 企業との連携、企業(仕事)を知る		施策44 主な取組44-3 1点目				●	公民連携を進める中で、企業と連携 し、就職に必要な情報の提供につい ても検討する。	
			4 市内で起業する人への支援		施策23	●				らづBiz(木更津市産業・創業支援 センター)による支援を行ってい る。	

きさらづ未来ビジョン提言書の基本計画への反映状況調べ

ビジョン	プロジェクト	課題	必要な取組	提案事項 (アイデア)	第3次基本計画の 関連する施策・取組	実施予定等				左記の詳細		
						実施中	準備中 (第3次基本 計画で実施)	要検討	その他 (記入)			
6 わくわくして暮らせるまち	1 生活する楽しさ	①コロナ禍によるイベントの減少	1 イベントができる場所の情報をHPやSNS等のオンラインに残してわかりやすくする ●公園、公民館、文化センター等		施策14 主な取組14-4 1点目	●				新たな多世代交流の機会の創出をめざし、更なる社会教育施設の情報提供に努めます。		
			2 イベントのオンライン中継をしてアーカイブを残し、より多くの人に知ってもらう		施策14 主な取組14-4 2点目	●				学習機会の提供に伴い学習内容を広く地域社会に活かすため、デジタル技術を更に活用します。		
			3 イベントは規模の縮小・人数制限をして複数回に分ける(予約・招待制)		施策14 主な取組14-4 1点目	●				市民のニーズを把握し、参加しやすい環境づくりに努めます。		
		②世代によるニーズの違い	1 道の駅に子ども、若者が遊べる施設、遊具をつくる						●		道の駅の拡張計画と合わせ検討する。	
			2 クラウドファンディングを活用して、子育て世代向け公園の遊具を増やす		施策30 主な取組30-1 2点目				●		クラウドファンディングではありませんが、寄附により公園内に健康遊具の設置を行った事例はあります。	
			3 どの世代が何をやりたいと思っているのかアンケートをとり、現状を把握する		施策41 主な取組41-1 3点目				●		ライフステージに応じたきめ細やかなサービスの提供に向け、各世代の行政ニーズの把握に取り組む。	
			4 イベントやおまつりに気軽に参加できる雰囲気、新人が入りやすい仕組みづくり		施策14 主な取組14-4 1点目	●					市民のニーズを把握し、参加しやすい環境づくりに努めます。	
			5 世代ごとそれぞれのニーズに対して、クラウドファンディングでお金を集める(自助努力型)		施策44 主な取組44-3 1点目				●		ライフステージに応じたきめ細やかなサービスの提供に向け、各世代の行政ニーズの把握、財源確保を検討する。	
		6 わくわくして暮らせるまち	2 地元への愛着	③木更津への理解を促進できていない	1 木更津の歴史について、小学生にも伝わるようにわかりやすくまとめた絵本を作る		施策16 主な取組16-2 3点目	●				郷土の歴史を学ぶ授業で、副教材として使用可能な金鈴塚古墳周知用の資料を作成し、市内小学校の対象児童に配布している。
					2 地域・まちを学びながら遊ぶことができるゲームを作る	ご当地かるた、ウォークラリーなど	施策13 主な取組13-1 2点目				●	
3 木更津市をロケ地としてもっと使ってもらう					施策25 主な取組25-1 3点目	●					木更津市観光協会と連携し、ロケーション誘致や支援作品の情報発信を行っており、引き続き充実を図る。	
4 聖地巡礼	コンテンツの創出				施策25 主な取組25-1 2点目	●					中の島大橋が「恋人の聖地」に選定されており、聖地巡礼による観光客誘致や市内周遊を図るため、パレンタイムイベントなどを開催している。	
④イベント参加者の減少	1 アクアポイントやきさぽングッズなど、イベント参加者への特典をつける				施策45 主な取組45-2	●					らづポイント(行政ポイント制度)においてボランティア参加者以外にも、市が実施するイベント参加者へのポイント付与を実施している。今後は、付与対象事業の拡大を図り、引き続き、市民参加の促進に取り組む。	
	2 子ども向けのイベントを開催する				施策25 主な取組25-1 1点目	●					木更津ナチュラルバルで子供向けイベントを開催している。	
	3 イベント情報まとめサイトを作成する(例、子どもとお出かけ情報サイト「いこーよ」)				施策25 主な取組25-1 2点目	●					観光デジタルマップ「木更津おでかけナビ」を作成し、観光イベント情報の発信を行っている。	
⑤東京との競合	1 「地産地消」をテーマにしたフェスの実施			学ぶ、体験、食などの複合イベント						●		現在開催しているオーガニックフェスティバル等とのイベントと絡めて、検討する。
	2 東京〇〇という名前のテーマパークを木更津には作らない(ディズニー、ドイツ村…)			木更津の愛称の検討								民間施設について、市民が愛着を持てる施設となるよう企業側と協議する。
	3 市外(対岸の東京等)の人を呼び、お客様にする				施策25 主な取組25-1 2点目と3点目	●						市公式ホームページやSNS、観光デジタルマップ「木更津おでかけナビ」等の活用、アクアラインイースト観光連盟等によるプロモーションを行っている。
	4 観光サイトの作成やSNS、ポスター掲示を行い、市外の人に案内やアピールをする		施策25 主な取組25-1 2点目	●						市公式ホームページやSNSに加え、観光デジタルマップ「木更津おでかけナビ」等を活用し案内している。		
6 わくわくして暮らせるまち	3 文化・芸術・スポーツ	⑥学ぶ機会がない	1 学校、教育で木更津について学んでもらう		施策14 主な取組14-1 2点目		●			市民に多種多様な学習機会を提供するため、「きさらづ市民カレッジ」に取り組めます。		
					施策16 主な取組16-2 1点目		●			「木更津市史」本編をデジタルアーカイブで公開し、生涯学習や学校教育等で活用していただく。		
			2 博物館をもっと利用してもらう		施策16 主な取組16-2 4点目	●					デジタル・コンテンツを用いたわかりやすく充実した展示を検討する。	
			3 きさらづ出前講座を利用してもらう(市役所×市民の交流)		施策14 主な取組14-2 2点目	●						市政への理解を深めるため、住民のニーズに沿った内容を準備します。
			4 郷土博物館金のすずの他にも、歴史を学び、体験できる施設をつくる						●			デジタルアーカイブでの3Dバーチャル展示等、歴史を学び、体験できる機会について検討します。
			5 アートの拠点としての美術館の設置	デジタルアーカイブにおける、木更津市の歴史の発信や文化財などの3Dバーチャル展示等					●			既存公共施設の活用や民間誘致による美術館の設立等、アートに触れる場やデジタルアーカイブでの3Dバーチャル展示等、歴史を学び、体験できる機会を検討する。
			6 「知りたい人」と「教えたい人」、「知っている人」のマッチングサイトを作る	情報の把握	施策14 主な取組14-4 2点目				●			公民館事業を実施する際に、地区住民の要望に添う内容や講師についても積極的に地区住民を活用しているため、新たにマッチングサイトを作る必要性について検討する。

きさらづ未来ビジョン提言書の基本計画への反映状況調べ

ビジョン	プロジェクト	課題	必要な取組	提案事項 (アイデア)	第3次基本計画の 関連する施策・取組	実施予定等				左記の詳細	
						実施中	準備中 (第3次基本 計画で実施)	要検討	その他 (記入)		
7 生活が便利 なまち	1 日常生活の 便利さ	①買い物に不便な 地域がある	買物に行きやすくする(移動手段の充実) ●乗合タクシーの整備 ●駅近の「カスミ」の無料バスをもっとアピール する! ●小回りの効くモビリティを増やす ●駅前から大型スーパーへのバス路線を増 やす、つくる		施策04 主な取組04-1	●				移動手段がない高齢者世帯に対し て、タクシー利用を助成し、買物等 の外出を支援している。	
					施策33 主な取組33-2 2点目と6点目				「乗合タクシーの整備や、小回りの きくモビリティを増やす」について は、A I オンデマンド交通等の活用 を関係者と共に検討を進める。 「駅前から大型スーパーへのバス路 線を増やす」については、まちづく りの進展や需要の変化を踏まえ、バ ス路線を見直すよう、バス事業者へ 働きかける。		
			「行かなくても買い物できる」環境の整備 ●零細商店への移動販売車の貸出 ●高齢者向けのネットスーパーの設立		施策04 主な取組04-1	●				株式会社カスミと協定を締結し、令 和3年7月から移動スーパーを運行 している。	
			居酒屋の昼時間における活用	企業誘致				●		立地相談があった場合、対応する。	
			生活の基盤となるスーパーを誘致し、仕事帰 りの買い物等に利用できるようにする	駅前、バス停周辺へ の誘致				●		立地相談があった場合、対応する。	
			ビジネスとのマッチング	企業誘致、起業家と のマッチング				●		立地相談があった場合、対応する。	
			6 駅近に人を住める様にする(空き家、住民 District)	空き家対策、リノ ベーション、マッ チング	施策28 主な取組28-1 2点目 施策29 主な取組29-1 2点目	●				木更津駅周辺は、立地適正化計画に おいて居住や都市機能を誘導する区 域に設定されており、街なか居住マ ンション建設補助や市庁舎を含めた 複合施設整備、空き店舗の活用支援 など様々な施策を活用し、駅周辺の 生活利便施設を維持し、長期的な視 点で緩やかに居住を誘導している。	
			7 ニーズ、ポテンシャルの見える化	ニーズ:地域や事業 者の声 ポテンシャル:お店 や提供できるもの の情報、提供手法、 立地条件				●		企業から相談があった場合、対応す る。	
			8 コミュニティストアの設立	移動スーパーやネッ トスーパーの普及促 進				●		移動スーパーやネットスーパーを実 施している事業者を市民への周知す る。	
			9 Alexa等のAI音声アシスタントやアプリの活 用(便利さや可能性は無限大!)	タブレットの利活用				●		買い物とA I 音声アシスタントやア プリを活用することができるか検討 する。	
			②地域の店を応援 する気運が不十分	1	アクアコイン利用増加のための各種取組の実 施 ●アクアコイン限定商品など特別感を出す ●アクアコインの使い方の周知 ●Suicaのようなカードでの利用		施策23	●			アクアコイン普及推進事業により、 各種取組を実施している。
				2	地域のお金の見える化		施策23	●			アクアコインの導入により、流通の 見える化を行っている。
				3	NFTで回るほど価値UP	仕組みづくり				●	市内事業者によるN F Tの取組に対 し、らづ-Biz等へ相談があった場合 は支援を検討する。
				4	学校給食等での食育、子どものうちから地産 地消を学ぶ		施策20	●			市内の有機的な圃場で栽培されたお 米「きさらづ学校給食米」を市内公 立小中学校の給食へ提供し、地産地 消に取り組んでいる。
							施策12 主な取組12-2 4点目		●		地元産食材を取り入れた地産地消給 食を活用した食育を拡充する。
5	お店の近くに住んでもらう	啓発活動	施策31 主な折組31-1 1点目	●			お店の近くに空家バンクを登録され た方と利用者のマッチングを行って いきます。				

きさらづ未来ビジョン提言書の基本計画への反映状況調べ

ビジョン	プロジェクト	課題	必要な取組	提案事項 (アイデア)	第3次基本計画の 関連する施策・取組	実施予定等				左記の詳細	
						実施中	準備中 (第3次基本 計画で実施)	要検討	その他 (記入)		
7 生活が便利 なまち	2 移動の便利 さ	③交通渋滞	1 運転の全自動化		施策33 主な取組33-2 6点目		●			公共交通の運転手不足の解消につながるので、活用について事業者に働きかける。	
			2 時間帯によってアクアラインの通行料金を設定する(ロードプライシング)		施策33 主な取組33-1 1点目		●			アクアライン交通量の分散化・平準化に向けた取組を県と連携して進める。	
			3 バスを増便して車の利用を減らし、渋滞の緩和につなげる		施策33 主な取組33-2 2点目と3点目		●			まちづくりの進展や需要の変化を踏まえ、バスを増便するよう、バス事業者へ働きかける。	
			4 金田地域等のホテルに宿泊でコストコやアウトレットを割引にする	市内周遊促進のため割引クーポンを発行	施策25 主な取組25-1 2点目	●				「木更津おでかけナビ」で市内飲食店や観光施設の割引クーポンを発行し、周遊を促進させる。	
			5 プレートのナンバーによる交通規制(中国の参考例)		施策33 主な取組33-1 1点目			●		アクアライン交通量の分散化・平準化に向けた取組を県と連携するとともに、プレートのナンバーによる交通規制については、実施の可能性について調査する。	
			6 渋滞情報の取得方法・見える化		施策33 主な取組33-1 1点目			●		ネクスコ東日本とNTT東日本がAIを活用し渋滞情報を発信していることから、この周知に関係者と共に取り組むとともに一般道の活用についても検討する。	
			7 渋滞予測も含めて、全ての車に情報を流す		施策33 主な取組33-1 1点目			●		ネクスコ東日本とNTT東日本がAIを活用し渋滞情報を発信していることから、この周知に関係者と共に取り組むとともに一般道の活用についても検討する。	
			8 混み合う時間帯の事前周知		施策33 主な取組33-1 1点目			●		ネクスコ東日本とNTT東日本がAIを活用し渋滞情報を発信していることから、この周知に関係者と共に取り組むとともに一般道の活用についても検討する。	
			9 交通手段の分散(車やバスだけでなく船も！陸だけでなく海も！)	バス利用の啓発					●		千葉県や東京湾フェリーなどの関係機関との連携について検討する。また、バス利用の啓発に努める。
		④アクアラインへの依存	1 新交通ネットワーク、リニアの整備						●		湾岸道路の整備について、引き続き、国へ働きかけるとともに、新交通ネットワークについては、調査研究を進める。
			2 海を使う交通(フェリー、水上バス)						●		千葉県や富津市にある東京湾フェリーなどの関係機関との連携について検討する。
			3 終電の時間を遅くする						●		需要を踏まえ、千葉県JR線複線化等期成同盟を通じて、JRへ要望する。
		⑤移動手段の充実	1 コミュニティバスの整備・無料化			施策33 主な取組33-2 6点目		●			バス路線網の再編を進める中で、コミュニティバスの有効性を検討する。
			2 MaaSの開始			施策33 主な取組33-2 6点目		●			地域の実情に合致したMaaSに関係者とともに検討する。
			3 コンパクトCity(地区)のネットをつくる			施策33 主な取組33-2 2点目		●			拠点ネットワーク型の集約型都市構造の形成を目指したバス路線網の再編を、関係者とともに進める。
			4 日陰を多くつくり、涼しくすることで歩きやすくする	街路樹の植樹				●			街路樹の適切な維持管理により、夏季における遮光効果を高める。
			5 電動のキックボード・自転車の普及に向けた取り組み ●アクアコインで利用できるキックボード ●時間貸自転車の整備(車が運転できなくても使える) ●無料自転車の整備 ●乗り捨てられる自転車 ●自転車専用道路の整備						●		市内において電動キックボードのシェアリング事業を実施しようと考えている事業者に対し、アクアコインの導入を働きかける。